

飛騨市学園構想
SUPER COMMUNITY SCHOOL
 地域とともにある学校づくり
 ～飛騨吉城特別支援学校～



34

飛騨吉城特別支援学校では、地域との関わりとして「殿町青龍会」と様々な交流を行っています。この会は、古川祭の屋台の1つ『青龍臺(せいりゅうたい)』を運営するOBの方が、当校の開校と同じ平成25年に地域に貢献することを目的として結成した団体です。

殿町青龍会の方から地域貢献の一環として学校と関わりをもちたいとの提案があり、開校当時から様々な活動が行われています。

今年度の活動を紹介します。

◆木偶奉納(でぐほうのう)

古川祭初日に当校の駐車場に屋台を曳き入れ、木偶奉納を実施していただきます。児童生徒は祭にあわせて作成した学校の法被を着て見学します。目の前で行われるからくり奉納に目をキラキラさせていました。

◆運動会への協力

中学部の競技では「祝い唄」を歌っていただきます。入場曲に合わせ、屋台を曳いた生徒が入場します。また、全校種目「ツバメ」のダンスでは、一緒に踊ったり、曲に合わせて手拍子をしたりと、会場を盛り上げてくださいます。

◆夏まつり

殿町青龍会が中心となってヨーヨー釣りや輪投げなどを出店していただき、児童生徒は保護者とともに夏まつりを楽しめます。また、そのお礼として殿町青龍会の皆さんにのぼり旗を作成し、贈ります。



◆花餅作り交流


飛騨の伝統「花餅」をみんなで作ります。殿町青龍会の方と一緒に餅つきをし、餅の短冊をみんなで協力して枝に飾り付けていきます。

殿町青龍会との交流は、子どもたちが地域とのつながりを感じられるとともに、地域の一員であることを認識する大切な機会です。これからも地域とのかかわりを大切に進めていきたいと思います。

問 学校教育課 ☎0577-73-7494

みんなで活かして
楽しい毎日!

**飛騨の
薬草を学ぶ
教養講座**



焼き果物 その1

今年は暖冬予想となっていますが、それでも気温は下がり雪に覆われます。

雪に覆われる時期は薬草が採れなくなるからどうしようと考えている方もみえるかもしれませんね。

そんな時期に良いのが焼き果物です。焼き果物はミカン、リンゴ、バナナなどでできますが、オススメはこの時期よく目にするミカン。生薬名でチンピと言うミカンの皮には果肉以上に健康に役立つ成分を含んでいます。でも皮だけを食べないですね。そこで

焼き果物です。

ミカンを皮ごと焼くことで、普段捨てている皮に含まれる成分を実へ浸透させることができます。内部の成分も加熱されることで栄養効果が一層活性化されます。

これは漢方で「修治」とよばれる方法のひとつで、食べ物に熱を加えると、おいしくなるだけでなく、その食べ物が持つ性質や効能に変化が起こるのだそうです。

焼きミカンは、セキヤタンを取り、風邪や喘息に効きます。関節に溜まった水を排出する効果もあります。

昔は風邪気味の時はみかんをストーブで焼いて食べた、という話も聞きます。昔からの生活の知恵ですね。

さらに上級の黒焼もありますが、またの機会に。

健康にいいのはわかるけど温かいミカンはどうも…という方は、焼いたミカンと好みの量のハチミツを加え

てミキサーにかけると、柑橘の香りたっぷりのホットスムージーといった感じで、体が温まって喉にもやさしいです。

果物は見た目をきれいにするためワックスが塗ってあると聞きますが、40～50度のお湯に1分ほどつけ、表面を布で拭けば取れるそうです。

健康にいい成分たっぷりのミカン丸ごと取り入れて、冬を乗り切りましょう!



効能	鎮咳、去痰、喘息、風邪
入手先	スーパー、産直市場など

村上光太郎「「焼き」くだもので10歳若返る」より

問 まちづくり観光課
☎0577-73-7463